

## 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 遠州トラック株式会社  
 コード番号 9057 URL <http://www.enshu-truck.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤田 邦彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員総務部長兼経理部長 (氏名) 鈴木 初夫

TEL 0538-42-1111

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	16,552	21.7	811	30.4	722	43.1	372	78.8
22年3月期第3四半期	13,597	△6.6	622	△18.3	505	△27.3	208	△27.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	49.88	—
22年3月期第3四半期	27.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	23,733	10,026	41.9	1,332.84
22年3月期	23,715	9,796	40.9	1,299.84

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 9,944百万円 22年3月期 9,698百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
23年3月期	—	8.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,600	15.7	1,130	25.4	1,000	33.6	550	93.4	73.71

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 7,546,000株 22年3月期 7,546,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 84,873株 22年3月期 84,774株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 7,461,149株 22年3月期3Q 7,461,231株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、【添付資料】P. 2「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策や猛暑効果等により、個人消費が堅調に推移し、企業収益も総じて改善傾向にありました。ただし、下半期に入ると欧米経済の減速に伴う外需の伸び悩み、家電や自動車の駆け込み需要の反動などの影響により、景気の先行きに不透明感が目立ち始めました。

当物流業界においては、景気の回復基調を背景に、上半期は国内貨物輸送量、倉庫の入出庫量とも前年度に比べ小幅ながらも増加に転じましたが、第3四半期以降は景気の足踏みとともに予断を許さない状況となってきました。

このような中、当社グループにおいては、前期に開設した福島（福島県）、厚木（神奈川県）の2事業所が安定した業績を維持したことに加え、エコポイント制度や猛暑の影響から家電や飲料等の消費財の取り扱いが夏場を中心に大幅に増加しました。一方、工業系貨物等の既存部門の荷扱いは総じて苦戦を余儀なくされました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は165億52百万円（前年同期比21.7%増）、営業利益は8億11百万円（前年同期比30.4%増）、経常利益は7億22百万円（前年同期比43.1%増）、四半期純利益は3億72百万円（前年同期比78.8%増）となりました。

部門別の営業収益の状況は次のとおりであります。

物流事業は163億71百万円（前年同期比21.6%増）となりました。その内訳は、輸送部門が104億22百万円（前年同期比15.3%増）、倉庫部門が59億48百万円（前年同期比34.5%増）であります。その他（不動産事業）は1億81百万円（前年同期比35.4%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産の部合計は、前連結会計年度末に比べ18百万円増加の237億33百万円となりました。主な要因は、販売用不動産、機械装置及び運搬具、建設仮勘定、関係会社出資金及び長期貸付金が減少したものの、受取手形及び営業未収入金が増加したことなどによるものです。

負債の部合計は、前連結会計年度末に比べ2億11百万円減少の137億7百万円となりました。主な要因は、支払手形及び営業未払金、短期借入金が増加したものの、未払法人税等、賞与引当金、設備支払手形及び長期借入金が増加したことなどによるものです。

純資産の部合計は、前連結会計年度末に比べ2億29百万円増加の100億26百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことなどによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は9億13百万円となり、前連結会計年度末より18百万円減少しました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は7億16百万円（前年同期比5億83百万円増）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益6億68百万円、減価償却費4億24百万円、たな卸資産の減少67百万円及び仕入債務の増加3億69百万円による収入に対し、売上債権の増加4億56百万円及び法人税等の支払額4億18百万円による支出があったことなどによるものです。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は3億27百万円（前年同期比3億60百万円減）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出4億14百万円及び無形固定資産の取得による支出63百万円に対し、貸付金の回収による収入1億41百万円があったことなどによるものです。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は3億80百万円（前年同期は6億27百万円の獲得）となりました。これは主に短期借入金の純増加額5億5百万円及び長期借入れによる収入3億円に対し、長期借入金の返済による支出10億58百万円及び配当金の支払額1億19百万円があったことなどによるものです。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の連結業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点においては平成22年5月13日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法で算定しており、前連結会計年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合には、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法で算定しております。

② 税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

なお、これによる損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	938	958
受取手形及び営業未収入金	3,832	3,378
販売用不動産	112	181
繰延税金資産	68	74
その他	242	260
貸倒引当金	△6	△5
流動資産合計	5,187	4,848
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,815	4,786
機械装置及び運搬具(純額)	185	223
土地	10,826	10,820
建設仮勘定	30	208
その他(純額)	142	140
有形固定資産合計	15,999	16,180
無形固定資産	323	308
投資その他の資産		
投資有価証券	267	272
繰延税金資産	367	367
その他	1,600	1,746
貸倒引当金	△12	△9
投資その他の資産合計	2,222	2,378
固定資産合計	18,545	18,866
資産合計	23,733	23,715

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	2,142	1,776
短期借入金	4,817	4,629
未払法人税等	123	244
賞与引当金	31	105
その他	556	666
流動負債合計	7,670	7,422
固定負債		
長期借入金	5,515	5,956
退職給付引当金	261	249
負ののれん	15	19
その他	243	271
固定負債合計	6,036	6,495
負債合計	13,707	13,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,284	1,284
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	7,610	7,357
自己株式	△59	△59
株主資本合計	9,921	9,668
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	30	35
繰延ヘッジ損益	—	△9
為替換算調整勘定	△7	2
評価・換算差額等合計	22	29
少数株主持分	81	98
純資産合計	10,026	9,796
負債純資産合計	23,733	23,715

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業収益	13,597	16,552
営業原価	12,526	15,277
営業総利益	1,071	1,274
販売費及び一般管理費	449	463
営業利益	622	811
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	6	4
負ののれん償却額	3	3
その他	21	33
営業外収益合計	36	44
営業外費用		
支払利息	93	98
その他	59	33
営業外費用合計	152	132
経常利益	505	722
特別利益		
固定資産売却益	1	5
特別利益合計	1	5
特別損失		
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	4	21
投資有価証券評価損	1	6
関係会社出資金評価損	—	32
特別損失合計	6	60
税金等調整前四半期純利益	500	668
法人税等	112	305
過年度法人税等	181	—
法人税等合計	294	305
少数株主損益調整前四半期純利益	—	362
少数株主損失(△)	△1	△9
四半期純利益	208	372

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	500	668
減価償却費	426	424
支払利息	93	98
投資有価証券評価損益 (△は益)	1	6
有形固定資産売却損益 (△は益)	△1	△5
有形固定資産除却損	—	21
関係会社出資金評価損益 (△は益)	—	32
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,042	△456
たな卸資産の増減額 (△は増加)	21	67
仕入債務の増減額 (△は減少)	428	369
その他	83	△7
小計	511	1,219
利息及び配当金の受取額	10	7
利息の支払額	△82	△93
和解金の支払額	△67	—
法人税等の支払額	△239	△418
法人税等の還付額	—	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	132	716
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△194	△414
有形固定資産の売却による収入	2	26
貸付金の回収による収入	—	141
その他	△496	△80
投資活動によるキャッシュ・フロー	△688	△327
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△95	505
長期借入れによる収入	2,188	300
長期借入金の返済による支出	△1,336	△1,058
配当金の支払額	△119	△119
その他	△10	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	627	△380
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15	△26
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	57	△18
現金及び現金同等物の期首残高	941	931
現金及び現金同等物の四半期末残高	998	913

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。